

「1市2町ごみ処理広域化実施計画(案)」

に対する意見を募集

平塚市・大磯町・二宮町で構成する1市2町ごみ処理広域化推進会議では、ごみ処理における諸問題を解決するため、ごみ処理の広域化について検討を進めてきました。

このたび、今年2月に皆さんからお寄せいただいた実施計画(骨子案)に対する意見を反映した「平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画(案)」をまとめました。

そこで、この実施計画(案)に対する皆さんからの意見を募集します。

今後はここでの皆さんの意見を反映させ、「ごみ処理広域化実施計画」を策定していきます。なお、意見を提出できる方は、平塚市、大磯町及び二宮町に在住、在勤、在学の方です。

▼募集期間

8月10日(水)から9月9日(金)まで ※締切日必着

▼閲覧場所

町民情報コーナー(役場本庁舎、国府支所)、図書館、町ホームページからも閲覧できます。

▼提出方法と提出先

氏名、住所をご記入のうえ、次のいずれかの方法により送付

してください(意見提出用紙有)。

なお、電話での意見は受付いたしません。

・郵送 〒254-8686

平塚市浅間町9-1 平塚市環境部資源循環課(1市2町ごみ処理広域化推進会議事務局)

・FAX (21) 9603

・HP 1市2町ごみ処理広域化推進会議ホームページ(町ホームページからも閲覧できます。)

・電子メール

(g-kouiki@city.hiratsukakana

gawa.jp)

▼説明会

○とき 8月26日(金) 午後7

時から

○ところ 保健センター2階

研修室

▼その他

意見募集終了後、皆さんからの意見に対する考え方を、町ホームページなどを通じて公表する予定です。意見については、個人情報を除き公開する予定です。

◎問い合わせ

・環境美化センター

☎(72) 4438

・1市2町ごみ処理広域化推進

会議事務局

☎(23) 1111

内線 2185

姉妹都市ラシン市から復興応援寄せ書きをいただきました

6月24日(金)に、米国ウイ

スコンシン州ラシン市から、町姉妹都市協会を通じ、東日本大震災からの復興応援の寄せ書きをいただきました。寄せ書きは、ラシン市姉妹都市協会が中心となつて市民に呼びかけ、市長をはじめ約200人のラシン市民の皆様のメッセージを集めたものです。

町姉妹都市協会では、大震災発生後、ラシン市姉妹都市協会に対し、町への震災の影響や、町や姉妹都市協会が行っている復興支援の取り組みを報告していただきました。ラシン市の皆様へ感謝申し上げますとともに、今後も友好関係を続けてまいります。



▲ラシン市から届いた日本語で書かれた寄せ書き



▲寄せ書きを受ける中崎町長(左から3番目)と、町姉妹都市協会役員の方々

◎問い合わせ
総務課 ☎内線 2111

今日からはじめよう! ごみのダイエツト通信 ⑦

今回は、少し方向を変えて「古紙の再利用」がテーマです。皆さんは、紙の生産にはどれくらいの木が使われていると思いますか?

100kgの紙つて木何本分?

紙100kg(約1万枚)を生産するのに、筒状の立木(直径14cm×長さ8m)が2本必要だと言われています。それを皆さんが出しているごみに置き換えるとどうなるでしょうか?

皆さんが森林を守っています!

町では、新聞紙、雑誌・チラシ、ダンボール、牛乳パックを「古紙」として回収しています。古紙の年間回収量は約1千200トン。1世帯当たりでは約95kg。ちょうど立木2本分です。

皆さんは、知らず知らずのうち立木2本分の森林資源を守っているのです!

まだ紙類を燃せるごみに出してはいませんか? 名刺サイズ以上のものならば、古紙として出

すことができます。

森林資源を守るため、燃せるごみを減らすためにも、引き続き「古紙」の資源回収にご協力ください。



◎問い合わせ

環境美化センター

☎(72) 4438